

平成 29 年 6 月 21 日

各圏域地域保健対策協議会会長 様

広島県健康福祉局医療介護計画課長
(〒730-8511 広島市中区基町 10-52)

第 7 次保健医療計画「地域計画」の救急医療体制の検討に係る連携について（依頼）

県医療行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

次期保健医療計画における救急医療体制の構築については、国の示す「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制構築に係る指針」により「適切な病院前救護活動が可能な体制」を構築することが求められております。

この病院前救護活動については、県メディカルコントロール（MC）協議会が救急搬送体制の整備などを担っていることから、別紙 1 のとおり県 MC 協議会を県設置の会議等に位置づけ、広島県地域保健対策協議会の「救急医療体制検討特別委員会」と連携し、病院前救護から療養の場への円滑な移行までの一体的な整備に向けた検討を進めることとしております。

については、貴圏域地域保健対策協議会におかれましても、「地域計画」の救急医療体制の検討にあたっては圏域 MC 協議会と連携を図っていただくようお願いいたします。

また、別紙 2 のとおり検討事項を関係者で共有し、県医療計画と「地域計画」の整合性を図るとともに、必要に応じて、脳卒中医療などの疾病や傷病者の状況に応じた医療体制の検討にあたっての参考資料とさせていただくため、次のとおり各圏域の医療機関リスト等をご提出くださいますようお願いいたします。

○検討事項及び提出書類

検討事項	提出書類
① 圏域の救急体制の検討	傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準 Ⅱ 医療機関リスト一式
② 救急搬送に係る受入困難事案対応など、搬送体制の改善方策	地域計画（案）の該当部分など

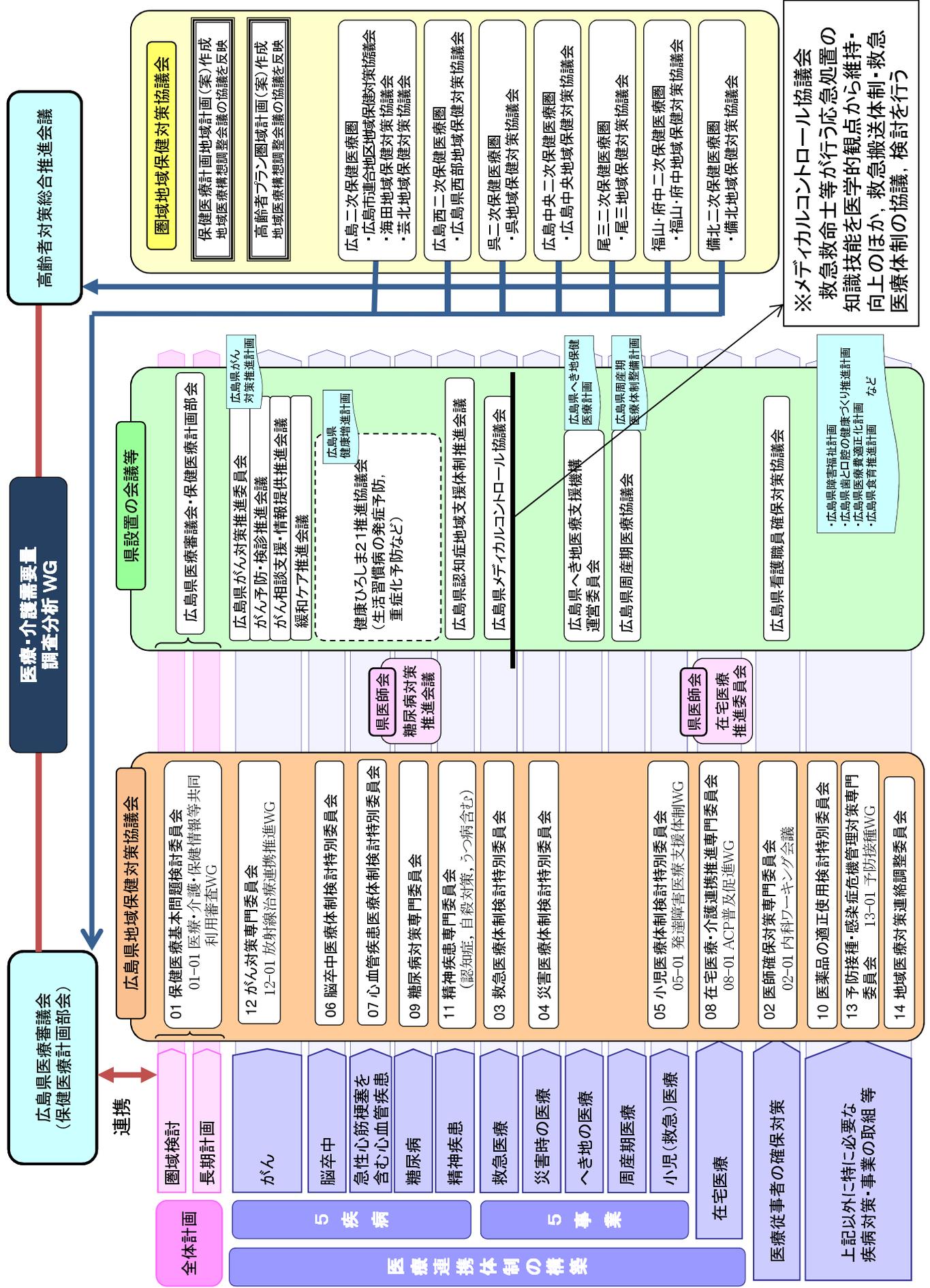
○提出期限

平成 29 年 8 月 31 日（木）

担当 医療連携グループ
電話 082-513-3081(ダイヤル)
(担当者 増廣 中筋)

◆次期保健医療計画・ひろしま高齢者プランの検討体制

別紙 1



第7次保健医療計画の救急医療体制に係る検討体制について

H29.6.12 医療介護計画課

1 主旨

第7次保健医療計画の救急医療体制の検討に当たり、県メディカルコントロール(MC)協議会を検討の場として加え、地対協の「救急医療体制検討特別委員会」と連携して、計画の策定に取り組む。※検討体制は別紙のとおり。

【理由】

- ① 救急医療体制の構築にあたり、国の示す指針において「適切な病院前救護活動が可能な体制」を構築することが挙げられており、県の組織として、県MC協議会が、実質その検討を担う。
- ② H29.6.7 に開催の県MC協議会において、山野上会長から、同協議会を救急医療体制の検討体制に加えるよう提案された。なお、県MC協議会の委員である志馬教授は「救急医療体制検討特別委員会」の委員長を兼ねており、当意見に賛同。

2 今後の進め方

- 次の2点等所要の事項について、8月を目途に検討するよう、当協議会に求め、その検討内容を「救急医療体制検討委員会」において、共有・検討し、県保健医療計画及び圏域計画に盛り込む

【検討事項】

- ① 圏域の救急体制の検討（医療機関リストの作成等）
※ 広島県保健医療計画と調和が保たれたものとする旨、規定されている。
- ② 救急搬送に係る受入困難事案対応など、搬送体制の改善方策

○ 具体のスケジュール

6月中旬	圏域地対協に対して依頼 ※必要に応じて、周知依頼会議を開催 〔圏域MC協議会と連携して、検討事項の協議を進め（8月目途）、その結果を、県MC協議会等関係者と情報共有とともに、地対協「救急医療体制検討特別委員会」に情報提供〕
8月	救急医療体制に係る計画案（素案）に当該内容を反映し、「救急医療体制検討特別委員会」において検討
10月	修正等を経て、計画案の策定

圏域における救急医療の検討体制の強化について（案）

H28.7.4 健康福祉局医療介護計画課
危機管理監消防保安課

1 趣旨

- 地域の救急医療体制の整備に係る検討事項のうち、特に広島圏域に関する課題は、早急に解決すべき課題となっている。
- こうした救急医療体制に係る検討は、各圏域のメディカルコントロール体制の見直しにも大きく影響することとなることから、圏域地域保健対策協議会救急搬送検討部会（以下「圏域地対協」という。）と圏域メディカルコントロール協議会（以下「圏域MC協」という。）の両協議会が連携し、救急医療における体制整備の構築を図る必要がある。

2 「圏域地対協」及び「圏域MC協」の概要（救急関係、H28.6.16時点）

区分	所管圏域	主な構成員	主な検討事項
圏域地対協 （各圏域地対協が定めた規約により設置）	各二次保健医療圏域 （広島圏域は、広島連合、海田、芸北の3圏域で構成、個々の事案は各圏域で検討し、各検討結果を広島圏域分として盛り込む）	地区医師会、医療機関、市町、県保健所、消防関係者 〔事務局〕県保健所 ※広島連合は、広島市医師会	・救急搬送状況に関する検討 ・救急講習会の実施 等 ※海田圏域には、救急医療関係の部会なし
圏域MC協 （厚労省・消防庁通知（H14）により消防本部が設置）	各二次保健医療圏域と同一	消防本部、保健所、地区医師会、中核医療機関、検証医師 〔事務局〕消防本部	・救急救命士等による病院前救護体制の拡充のための取組 ・救急搬送に係る諸課題の検討 ・実施基準に関する検証等（H28.6以降新たに位置づけ）

3 今後の検討体制

- 圏域MC協での検討事項のうち、特に圏域地対協での検討事項と関係の深い傷病者の搬送及び受入体制の策定者等については、概ね次のとおりとする。

区分	検討分野	検討内容
圏域地対協	傷病者の受入体制の検討及び整備	・救急搬送状況の分析 ・各救急医療機関の役割・連携体制 ・その他、地域の救急医療に必要な事項
圏域MC協	傷病者の搬送に関する基準の検証及び見直しの検討	・実施基準の運用状況のほか救急搬送の課題分析及び改善検討 ・その他、地域の救急搬送に必要な事項

【例】圏域MC協で検証する「傷病者の搬送及び受入の実施に関する基準」の役割イメージ

- ① 県及び圏域地対協で検討した受入体制の内容を圏域MC協に提供
- ② 圏域MC協は、①の内容を踏まえ実施基準を検証
- ③ ①、②を踏まえた圏域における調整

医療介護計画課及び圏域地対協…第2号「医療機関リスト」、第6号「受入医療機関確保基準」、第7号「その他基準」
消防保安課及び圏域MC協…第1号「分類基準」、第3号「観察基準」、第4号「選定基準」、第5号「伝達基準」

- 圏域地対協又は圏域MC協で検討された内容は、共通認識が図られるよう、相互に報告等を行うこととし、必要に応じて両協議会が合同で検討を行う。
- 広島県地域保健対策協議会 救急災害医療検討合同会議及び広島県メディカルコントロール協議会においても、両協議会での検討状況を相互に報告し、連携を図る。

圏域メディカルコントロール協議会の運営状況等

	広島西MIC協議会	広島MIC協議会	兵MIC協議会	広島中央MIC協議会	尾三MIC協議会	福山・府中MIC協議会	備北MIC協議会
代表者(会長) H29.4.1現在	山根 基 (佐伯地区医師会)	内藤 博司 (広島市立広島市民病院)	原 豊 (兵市医師会)	高梨 敏 (医療法人社団樹草会本永病院副院長)	瀬尾 桑樹 (世羅郡医師会)	大田 泰正 (福山市医師会救急担当理事)	鳴戸 謙嗣 (三次地区医師会)
構成消防機関 (公安消防)	★中日子市消防本部 ★大竹市消防本部	★広島市消防局 ★安芸高田市消防本部 ★府中町消防本部 ★北広島町消防本部	★兵市消防局 ★江田島市消防本部	★東広島市消防局	★尾道市消防局 ★三原市消防本部	★福山地区消防組合消防局	★備北地区消防組合消防本部
構成地区医師会	大竹市医師会 佐伯地区医師会	広島市医師会 安芸地区医師会 安芸高田市医師会 山県郡医師会	兵市医師会 安芸地区医師会 佐伯地区医師会	東広島地区医師会 賀茂東部医師会 竹原地区医師会 豊田郡医師会	尾道市医師会 三原市医師会 因島医師会 世羅郡医師会	福山市医師会 三次地区医師会 庄原市医師会	三次地区医師会 庄原市医師会
保健所	広島県西部保健所	広島県西部保健所 広島市保健所	広島県西部保健所呉支所 呉市保健所	広島県西部保健所	広島県東部保健所	広島県東部保健所福山支所 福山市保健所	広島県北部保健所
MC中核病院	厚生連廣島総合病院	広島市立広島市民病院 県立広島病院 広島大学病院 広島赤十字・原爆病院 広島市立安佐市民病院 厚生連吉田総合病院 安芸太田病院 マツタゲ病院 広島鉄道病院	国立病院機構呉医療センター 呉赤十字病院 中国労務病院	国立病院機構東広島医療センター 県立安芸津病院	尾道市立市民病院 厚生連尾道総合病院 真玉総合病院 三原赤十字病院	福山市民病院 日本鋼管福山病院 国立病院機構福山! 中国中央病院 大田記念病院 福山循環器病院 寺岡記念病院 府中市民病院 府中市北市民病院	市立三次中央病院 総合病院庄原赤十字病院
MC核医師	吉田研一 (厚生連廣島総合病院) 中尾正和 (厚生連廣島総合病院)	内藤博司 (広島市立広島市民病院) 竹村亨 (県立広島病院) 楠 二 (県立広島病院) 智良昭彦 (広島市立安佐市民病院) 久保田 俊 (広島鉄道病院) 津村龍 (広島大学病院) 真藤祐磨 (広島大学病院) 大谷重嗣 (広島大学病院) 大田浩平 (広島大学病院) 多田昌弘 (県立広島病院) 増田利恵子 (広島市立広島市民病院) 田原直樹 (安佐市民病院)	岩崎泰昌 (国立病院機構呉医療センター) 中川五男 (中国労務病院) 石川雅巳 (呉共済病院)	森田 裕 (国立病院機構東広島医療センター) 小野裕二郎 (国立病院機構東広島医療センター) 高島和博 (県立安芸津病院) 林 始 (西条中央病院) 源中 馨晴 (県立安芸津病院)	瀬沼正樹 (厚生連尾道総合病院) 矢野浩則 (尾道市立市民病院) 藤原恒太郎 (尾生総合病院) 荒田 寛一 (公立世羅中央病院) 栗原 真一 (公立世羅中央病院)	宮住浩司 (福山市民病院) 浜田安洋 (日本鋼管福山病院) 相合伸彦 (福山市民病院) 米花伸彦 (福山市民病院) 大橋隆朗 (福山市民病院) 石垣周治 (大田記念病院) 竹井秀雄 (福山循環器病院) 宮取 英 (藤井病院) 石橋直樹 (福山市民病院) 佐藤圭路 (大田記念病院)	三上信祐 (市立三次中央病院) 原田宏浩 (市立三次中央病院) 中村裕二 (総合病院庄原赤十字病院)

H29.6.7(水)南備の
広島県MC協議会
資料F11抜粋

傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準

**平成23年8月
広島県**

③ 呉圏域

※ この医療機関リストは、救急隊が搬送の際に使用するためのものであり、県民の皆様が受診先を探すためのものではありません。
 ※ 県民の皆様が医療機関を受診される場合は、「救急医療 Net HIROSHIMA」
 (<http://www.qq.pref.hiroshima.jp/qq/qq34tpmnl.asp>) をご利用ください。

傷病者の状況		医療機関リスト	
緊急性	重篤 (バイタルサイン等による)	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉医療センター, 呉共済病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院, 中国労災病院	
	① 意識障害, 痙攣	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉中通病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	② 麻痺	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉中通病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	③ 頭痛, めまい	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉中通病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	④ 呼吸困難	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	⑤ 胸痛	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	⑥ 腹痛	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	⑦ 外傷	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉中通病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	⑧ 熱傷	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 呉中通病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院
	⑨ 中毒	呉医療センター, 呉共済病院, 中国労災病院	大君浜井病院, 大谷リハビリテーション病院, 公立下蒲刈病院, 済生会呉病院

重症度・緊急度【低】であるが、入院が必要と考えられるもの

傷病者の状況		医療機関リスト		
緊急性	⑩ 熱中症	重症度・緊急度【高】	呉医療センター， 呉共済病院， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院， 呉中通病院， 公立下蒲刈病院， 済生会呉病院
	⑪ 吐下血		呉医療センター， 呉共済病院， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院， 公立下蒲刈病院， 済生会呉病院
専門性	⑫ 指肢切断		呉医療センター， 呉共済病院， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院，
	⑬ 妊産婦救急		呉医療センター， 中国労災病院	呉医療センター， 中国労災病院
	⑭ 小児救急		呉医療センター， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院，
	⑮ 耳鼻科・眼科		呉医療センター， 呉共済病院， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院， 公立下蒲刈病院， 済生会呉病院
	⑯ 複数診療科の対応を必要とする傷病	呉医療センター， 呉共済病院， 中国労災病院	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院，	
特殊性	⑰ 精神科疾患を有する傷病	ほうゆう病院， 吉田病院 【圏域外】 (賀茂精神医療センター)， (草津病院)， (瀬野川病院)		
	⑱ アルコール飲酒傷病	大君浜井病院， 大谷リハビリテーション病院， 呉医療センター， 呉共済病院， 呉みどりヶ丘病院， 公立下蒲刈病院， 済生会呉病院， 中国労災病院		

※ 医療機関のリストは 50 音順に掲載。

※ 「専門性」及び「特殊性」に該当する症状，病態であっても，生命に影響を及ぼす緊急性が高い場合は，まずは緊急性の分類基準により判断し，対応できる医療機関へ搬送することが適当である。

※ 「特殊性」の「⑰ 精神科疾患を有する傷病」の（ ）書きは，広島県精神科救急医療システムの救急医療施設である。

次期保健医療計画・高齢者プランの策定スケジュール

時期	＜保健医療計画＞		＜高齢者プラン＞		圏域における検討（圏域地対協）	
	医療審議会 ○部会	県地対協	WG	高齢者対策総合推進会議	保健医療計画 地域計画	高齢者プラン 圏域版
H29年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回 3/16, ● 第2回 3/24 ○ 二次保健医療圏の協議・決定 ○ 計画の検討項目・検討体制 ○ 現行計画の進捗評価 ★医療計画作成指針の提示 	○体制決定		<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回 3/24 ○ 現行計画の進捗評価 ○ 計画の検討項目など 	○H28年度とりまとめ, 次年度の検討事項など	「圏域検討事項」の決定
4月						
5月	<ul style="list-style-type: none"> ★H28 病床機能報告結果 	<ul style="list-style-type: none"> 5 疾病5 事業等の体制把握 ・ 現状把握 ・ 課題 ・ 方向性 ・ 施策 ・ 目標 	医療・介護 需要量等の 検討に必要な データの 調査分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回 5/24 ○ 基本理念の考え方 ○ 主要項目 (案) ○ 主な論点の整理 ★基本指針 (案) 	<ul style="list-style-type: none"> ＜地域医療構想調整会議＞ ・ 病床機能報告等データを踏まえた役割分担の確認 (医療機関の役割の明確化, 不足する医療機能) ・ 病床機能転換の基金活用 (H29分) ＜計画検討＞ ・ 5 疾病5 事業等の現状・課題 	28年度に決定した「圏域検討事項」の対応策について協議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回 ○ 基本理念の考え方, 主要項目案 ○ 5 疾病5 事業等の検討状況 					
7月						
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回, ● 第1回 ○ 基準病床数, 指標等の検討 ○ 5 疾病5 事業等の骨子まとめ 	(中間整理)		<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回 ○ 素案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ＜地域医療構想調整会議＞ ・ 機能, 事業等ごとの不足を補う具体策について議論 ・ 具体の医療機関名を挙げて分化・連携/転換を決定 ＜計画検討＞ ・ 5 疾病5 事業等の施策, 目標 	「圏域検討事項」の対応策の具体的な実施方法について協議
9月				県・市町サービス見込量仮設定		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ★H29 病床機能報告 			<ul style="list-style-type: none"> ★基本指針の告示 	<ul style="list-style-type: none"> ＜地域医療構想調整会議＞ ・ 医療機関名 (役割) とりまとめ等 ・ 病床機能転換の基金活用 (H30分) ＜計画検討＞ ・ 5 疾病5 事業等の検討整理 	「圏域検討事項」としてとりまとめ
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回 ○ 計画素案の決定 (地域計画含む) 		需要量決定	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3回 ○ 計画素案の決定 (圏域版含む) 		
12月						
H30年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回 ○ 計画 (案) の決定 			<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回 ○ 計画 (案) の決定 		
2月				(パブリックコメント)		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5回, ● 第2回 ○ 最終案 → 答申 → 計画確定 			計画確定		

※WG：医療・介護需要量調査分析ワーキンググループ